

^全国女性会館協議会 2019年度地域研究事業

情報事業・広報事業担当者のための課題解決・実践研修（秋田県中央男女共同参画センター）アンケート

2019年10月30（水）～31（金）

参加者数 22 名

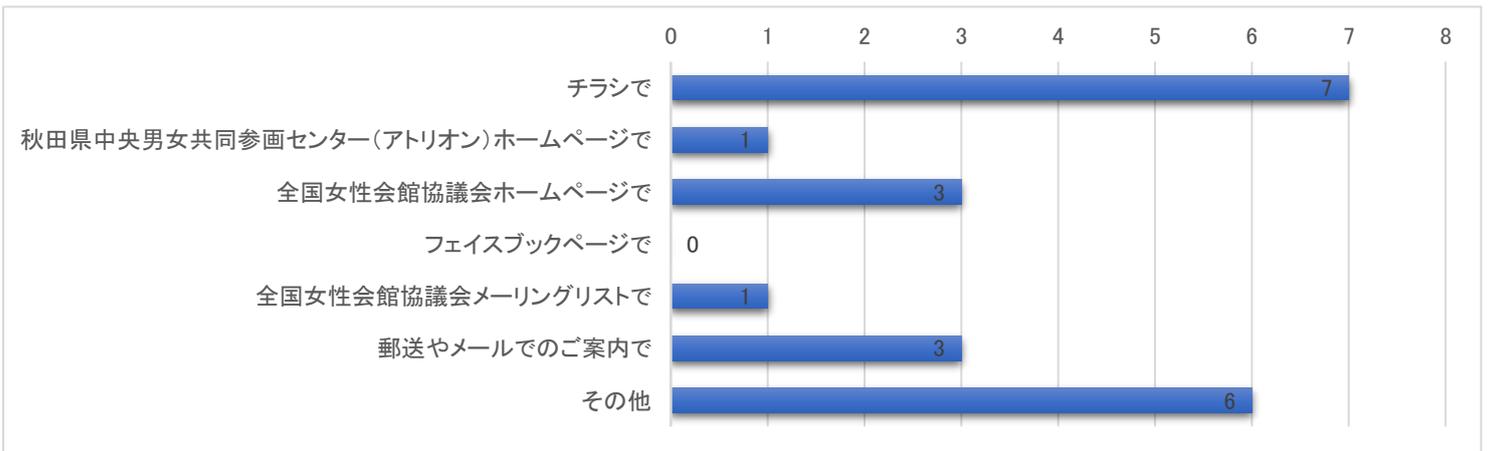
アンケート回収数 22 枚 アンケート回収率 100 %

問1 今回の研修を何で知りましたか。

1	チラシで	7
2	秋田県中央男女共同参画センター(アトリオン)ホームページで	1
3	全国女性会館協議会ホームページで	3
4	フェイスブックページで	0
5	全国女性会館協議会メーリングリストで	1
6	郵送やメールでのご案内で	3
7	その他	6

※チラシ配布先：上司から（2）、秋田市役所、秋田県中央男共同参画センター

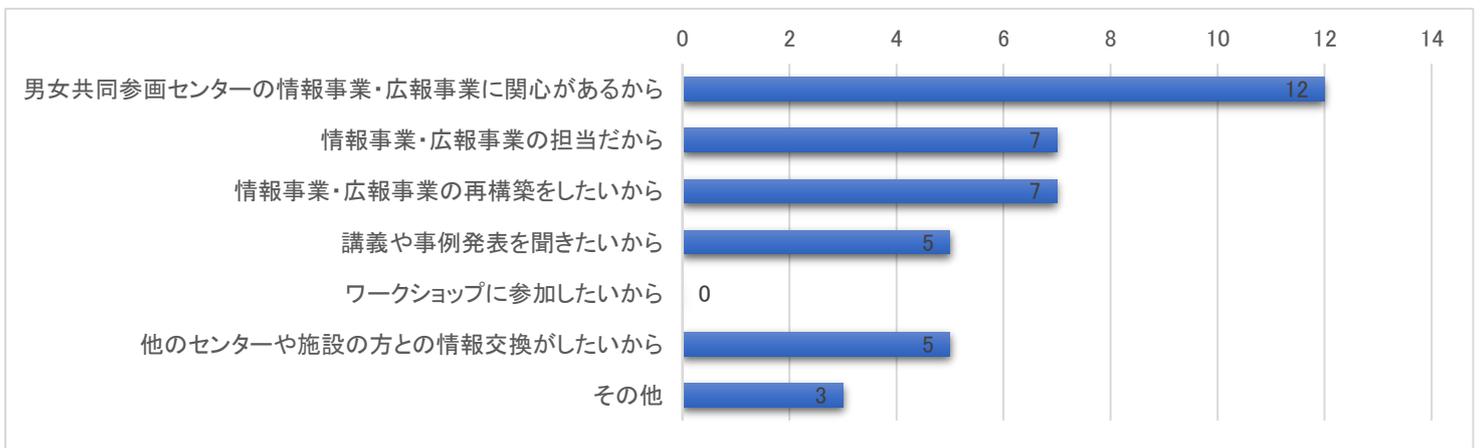
※その他：上司から（4）、秋田県男女共同参画センター職員から



問2. 今回の研修に参加された動機をお聞かせください。（複数回答可）

1	男女共同参画センターの情報事業・広報事業に関心があるから	12
2	情報事業・広報事業の担当だから	7
3	情報事業・広報事業の再構築をしたいから	7
4	講義や事例発表を聞きたいから	5
5	ワークショップに参加したいから	0
6	他のセンターや施設の方との情報交換がしたいから	5
7	その他	3

※その他：自分の活動の参考になるのではと考えたから。

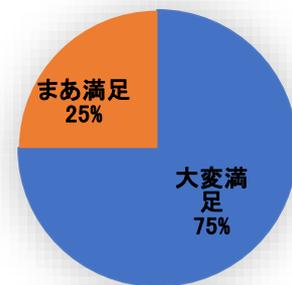


問3. 講座の満足度と感想をお聞かせください。

■ 講義1 「男女共同参画センター等の情報事業・広報事業の現状と課題」(参加者数：20名)

1	大変満足	15
2	まあ満足	5
3	やや不満	0
4	不満	0
5	未記入	2

※ 未記入の2名 不参加



**【大満足の感想】**

- センターで行うすべての事業をうまく組み合わせて連携していかなければならないことを理解できました。
- 情報や広報に関して「見える化」してもらって関係性がよく理解できました。評価の大切さを改めて感じました。
- 住み分けがきっちとわかりました。やるべきことが見えました。
- 情報と広報の違いが理解できました。
- 数字で他館の現状がわかって理解しやすかったです。
- センターだけの力でなく地域の社会資源を有効活用できるように連携できることの大切さを改めて認識しました。どう連携していくかが本当に課題です。広報事業にも大切な部分です。変わっていく必要性を感じます。
- 情報事業、広報事業について定義付けしていただき、アンケートの結果も知ることができてよかったです。
- 棚卸しから、自己評価をしてみてできるところは十分行えています。ここから、更に何ができるか考え、相談できるきっかけになりました。
- どんなによいことでも、それで終わらずに評価がきちんと表現（透明性を持って）され、今後の道標になれること。PDCAはとても大切、同感です。
- 男女共同参画センターのそれぞれの事業の関係性と役割、情報事業、広報事業のそれぞれの定義も理解できました。全国のセンターの最新の情報・広報関連の現状を知ることができました。
- 情報事業、広報事業の違いが明確になりました。

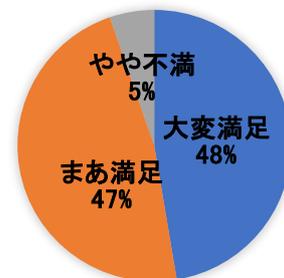
**【まあ満足の感想】**

- 男女共同参画センターでの事業について学ぶことができてよかったです。

- 分かりやすい説明でした。
- 男女共同参画センターの情報事業・広報事業の役割がはっきりしました。

■ ワークショップ1 「情報事業・広報事業の棚卸しとマップ作成」(参加者数：19名)

1	大変満足	9
2	まあ満足	9
3	やや不満	1
4	不満	0
5	未記入	3



※ 未記入の3名 不参加

【大変満足の感想】

- 他グループの活動やそのつながりを知り参考となりました。
- とても楽しくワークができました。できあがったものを改めて可視化した形で確認できたことはよかったです。
- 他団体の活動を知りコミュニケーションをとることができました。
- 男女共同参画サポーター歴1年。新しい取り組みと今までの経験を重ねながらいろいろ考える機会になりました。
- グループ内の方たちのセンターの情報事業・広報事業の取り組みを知ることができて参考になりました。
- 自センターの情報・広報のあり方を見直すことができました。
- 同僚と共に棚卸しができたのは大きな成果です。

【まあ満足の感想】

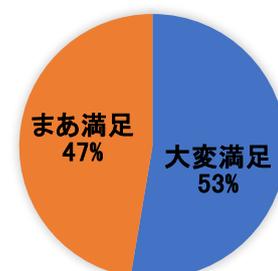
- まとめ方、やり方に戸惑いましたが、他のセンターの事業を知ることができました。
- 自センターの事業だけではなく、他センターの事業も可視化したことがよかったです。
- やっていることを振り返ることは必要なことだと思います。
- 他センターのいろいろな情報を聞いて参考になりました。時間的にもう少し余裕がほしかったです。
- 自センター情報・広報事業の棚卸しをすることができ、他センターの事業を知ることができました。マップ作成については考え方や作り方のヒントを少しいただけると取り組みやすかったと思いました。
- 整理するのに役立つ方法だと思います。

【やや不満の感想】

- 何をどうするかの手順がもう少しはっきりしていたら、グループの話し合いがとっても活発になったのかもしれないです。私の理解が追いついていなかったのかもしれないです。

■ 講義2 「広報紙・誌の現状と課題、企画について」(参加者数：19名)

1	大変満足	10
2	まあ満足	9
3	やや不満	0



4	不満	0
5	未記入	3

※ 未記入の3名 不参加

**【大満足の感想】**

- 仙台での取り組みを中心に説明していただきとても分かりやすかったです。
- 他センターでの苦労や努力を知る事ができ、これからどうすべきかのヒントを得ることができました。
- レベルの高い広報紙作りの過程について、共有された部分が勉強になりました。また、貼り出されているポスター・チラシに印象良く出会う。貼る側の視点（イメージ）が結局のところ広報を打ち出している者への評価となることを見のがしていたことが大切なポイントでした。
- 紙媒体にたよっているセンターが多い中、紙媒体についてセンター内でもっと深く追求する必要があります。
- 仙台市ならではの広報紙の作り方は、うらやましいようなこだわりに溢れていました。
- 紙媒体の活用について考えられました。

**【まあ満足の感想】**

- 話が少しわかりにくかったです。
- 「課題から離れること→課題の取組みには大切」について実感しています。そういうことで思いがけないアイデアや手法にいたることがよくあります。
- 「実現したいことは何か？」など問を持ち帰ってフィードバックしていきたいと思います。
- 仙台市のセンターの取組について詳しくお話ししていただきました。仙台市のセンター職員さんは力量がありました。自センターで行うにはどこからやっていったよいか、方法や考え方を共有したり、力をつけたりなど、できるのかと思ってしまいました。
- いろんなことを疑ってみる視点が新鮮でした。紙媒体を魅力的にするための話が印象に残りました。
- 加藤さんのお話しの中で、パンジーの制作にあたって「思い」を大切にしているということが印象に残りました。また、誰に何を？ということや見せ方について改めて考え直したいと感じました。

■ 講義3 「SNS活用の現状と課題について」(参加者数：20名)

1	大変満足	9
2	まあ満足	10
3	やや不満	1
4	不満	0
5	未記入	2

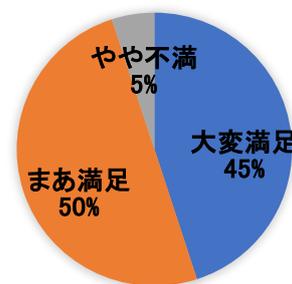
※ 未記入の2名 不参加

**【大満足の感想】**

- 使いたおす、使いまわす。
- 持ってきた疑問が解決されました。

**【まあ満足の感想】**

- SNSはわかりにくいと思っていましたが。わかりやすかったです。



- 紙媒体も大切にしながら、SNS を活用していきたいと思います。
- 今まで SNS の活用に対して消極的であったが今後はもっと活用しようと思いました。
- 確実に SNS の活用は増加、その一方でメリットや課題を今後は持つ必要がないだろうか。
- SNS 利用についての現状が分かった。紙媒体で作ったものを SNS で使いまわす。また、事業によって広報事業の媒体を変えることなど参考になりました。
- どこのセンターも情報、配信方法に苦労していることがわかりました。まだまだ、検討の余地があると感じました。
- ルール作りや負担感が大きいことは強く共感しました。

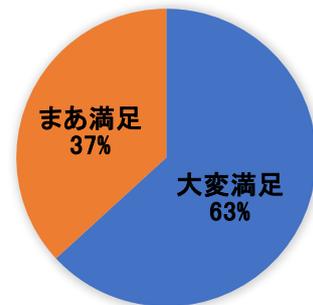
**【やや不満の感想】**

- らぷらす事例をもう少し詳しく具体的に聞きたかったです。講座でのルール（個人情報保護）やスライドでらぷらすの HP や安全スポットなど、写真などあるとわかりやすかったと思います。
- チラシに QR コードを入れて HP に誘導する方法があると知り大変ためになりました。QR コードから集計、効果測定もできることなど初めて知ることができました。今後の参考にさせていただきます。

**■ 講義 4 「NWEC 活用法」(参加者数：19名)**

1	大変満足	12
2	まあ満足	7
3	やや不満	0
4	不満	0
5	未記入	3

※ 未記入の3名 不参加



**【大満足の感想】**

- データ量のすばらしさ！このデータを活用して自センターの仕事を簡略化できる部分もあるかと思っています。また、経費をかけずに情報事業を行うアイデアなどスタッフで考えたいです。
- サポーター歴1年、夏に初ヌエック研修に参加しました。ヌエックを支える方々を知りました。ヌエック活用法の世界が広がりそうです。
- HP の活用法をわかりやすく教えてもらえました。
- パネル貸出し、図書のパッケージ貸出を利用できることを以前もヌエックの見学の際にお聞きしていましたが、すっかり忘れておりました。図書のパッケージ貸出は、スペース上難しいですが、パネルは何か企画ができた時に利用できることをしっかり認識しました。データ等作業は本当に大変な能力だと知りました。
- 資料が豊富。活用したいと思います。
- ご紹介ありがとうございました。
- 知っているようで知らない情報を知ることができました。NWEC はもっと活用できるし使えると思いました。
- 他センターでの具体的な活用事例を聞きたかったです。

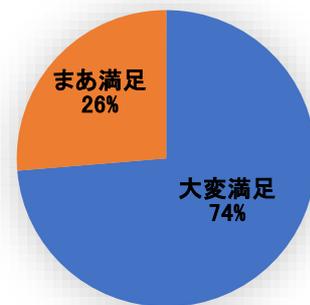
**【まあ満足の感想】**

- NWEC の利用方法全体がまとめられていてわかりやすかったです。

- パッケージ図書以外にも利用できるサービスがあることがわかりました。
- パッケージやリポジトリなどを活用させていただきたいと思いました。
- NWECC の HP をもっと活用しようと思いました。古い物も最新の情報も得られるんですね。すごいです。

■ ワークショップ2 「情報事業・広報事業のマップの発表と意見交換」(参加者数：19名)

1	大変満足	14
2	まあ満足	5
3	やや不満	0
4	不満	0
5	未記入	3



※ 未記入の3名 不参加

【大満足の感想】

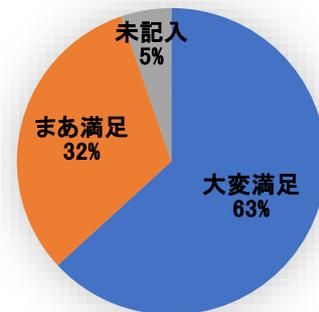
- 他のセンターが行っていることや、アイデアがわかり参考になりました。
- 各センターのアイデアに対して、一つひとつの評価の視点から意見をいただいたことに関心を持ってしまいました。
- 他センターの取組がすごくよくわかりました。取り入れたいと思うこともありました。
- 他館の取り組みが参考になりました。
- 他センターの様子も知ることができ、その連携、フィードバックができるなどマップから浮かび上がってきたと思います。

【まあ満足の感想】

- それぞれのグループの発表は似通っていましたが特徴的なことの紹介がとてもおもしろかったです。

■ ワークショップ3 「情報事業・広報事業の再構築」(参加者数：19名)

1	大変満足	12
2	まあ満足	6
3	やや不満	0
4	不満	0
5	未記入	4



※ 未記入の3名 不参加

【大満足の感想】

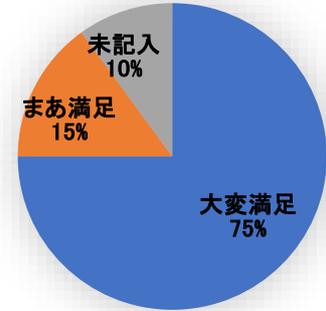
- 次年度に向けてのやる気につながりました。
- 少しでも来年度に活かせるように職員で共有したいと思います。
- 今後のやりたいことややるべきことが確認できてよかったです。
- この研修で得たことをどのように来年度自センターで行っていくか向き合えました。もう一度じっくりと時間をかけて考えたいです。
- 考えていることを少し整理することができました。

**【まあ満足のご感想】**

- ちょっと理解が足りなかったところ、講師先生のアドバイスがありがたかったです。
- 持ち帰って考えたいことや、やりたいことが明確になりました。

**■ 意見交換 「男女共同参画センターにおける今後の情報事業・広報事業」(参加者数：20名)**

1	大変満足	15
2	まあ満足	3
3	やや不満	0
4	不満	0
5	未記入	4



※ 未記入の2名 不参加

**【大満足のご感想】**

- もっと加工すればよいと改めて考えました。
- いろいろな方のお話の意見がきけてよかったです。
- 皆さんお一人ずつの意見、感想を聞くことができました。ここからも次年度の計画案のヒントが得られました。
- 個々の研修の取り組みの気持ちや意見を聞くことができよかったです。自分自身に役立つようなものがありました。
- みなさんの声が聞けてよかったです。

**問4. 知りたいと思った情報を知ることができましたか。**

1	はい	21
2	いいえ	0
3	未記入	1

**問5. 新しい見方や考え方を知ることができましたか。**

1	はい	21
2	いいえ	0
3	未記入	1

**問6. 課題解決の糸口が見つかりましたか。**

1	はい	21
2	いいえ	0
3	未記入	2

問7. 今後の情報事業・広報事業において、何をしたいか、何をすべきか明確になりましたか。

1	はい	21
2	いいえ	0
3	未記入	3

問8. 今回の研修の成果の活用方法やご感想などご記入ください。(自由記入)

- 実は昨年につき2回目でした。主催者側は本当に大変だとよくわかります。とてもよい研修でした。(グループメンバーにも恵まれました)本当にありがとうございました。
- 大変参考になりました。ワークについてはもう少し時間が欲しかったかも。SNSに関して実際のは発信者やしくみを専門家に解説してもらったらよいと思いました。お世話になりました。ありがとうございました。
- 他センターの苦勞から広報の課題が見えてきた気がしました。SNSはまだ新しいもので、全世代に広まっているものでもなく、これからチラシなどの紙媒体、テレビなどのメディアと共に効果的な発信を模索するとともに、魅力的な講座を考えていきたいと思います。
- 次年度の計画を立てる際に担当内で共有し、広報に活用したいと思います。ありがとうございました。
- 研修を受けっぱなしではなく、この研修を活かし自センターで会議を開き、情報事業・広報事業のこれからの改善と展開を考え、行動に移さなければいけません。予算をかけずにできるヒントがたくさんありました。
- 2日間皆さんと一緒に学べて、気づきをもらいました。
- 他のセンターのアイデアや事業を参考にして自センターで何ができるのかも考えていきたいと思います。
- 今後は客観的評価をどのようにしたらよいか、また相談させていただきたいです。
- SNSを活用したいです。
- 改めて気づかされたところがあり、棚卸しができました。お話を聞きながら感じたことは、ある資源をどう活用し利用者にとどけるかということ。情報と広報についても理解できました。持ち帰ってみんなに問います。
- 今できること、できていないことが明確になりました。SNSの取り込みを強化していきたいです。
- 紙媒体をどのように加工していくのか、見せ方の工夫、SNSの活用は必須です。SNSの使い方は難しいですが、これからは大事な広報配信になります。
- 情報事業は待っているだけではなく攻める姿勢も大事だと思いました。図書館や大学他、公的機関も巻き込んだ展開は魅力的です。新聞購読のクリッピングの廃止など、目からウロコでした。
- 同じ職場の職員と共に棚卸しや課題について考えられたことが大きな成果でした。
- 情報事業から広報事業の充実という方向性は担当者の自分磨きになり、利用者、対象者のメリットにつながるのではないかと思います(利益の共有と向上)。
- 安心して参加することができました。ありがとうございました。
- センターの職員ではありませんが、自分たちの活動を小さな規模のセンターと考えるといろいろと参考になりました。主に紙媒体の広報にたよっていますが、これも大切だと言われ大事にしたいと思いました。力を入れて作成したものを「使いまわす」ということで納得できました。SNSも少しずつ頑張ろうと思いました。

## 回答者属性

### ◆年代

1	20代	0
2	30代	1
3	40代	4
4	50代	7
5	60代以上	8
6	未記入	1

### ◆性別

1	女性	17
2	男性	2
3	未記入	2

### ◆居住地

1	秋田県外	9
2	秋田市外	2
3	秋田市内	11

※都府県名：岩手県(2)、山形県、福岡県、高知県、大阪府、新潟県、福島県

※秋田市外：潟上市

### ◆所属

1	男女共同参画センター職員	14
2	行政職員	2
3	図書館関連職員	0
4	学生	0
5	その他	6

※その他：自立生活支援センター北和会